

講演

震災後日本の針路と
男女共同参画

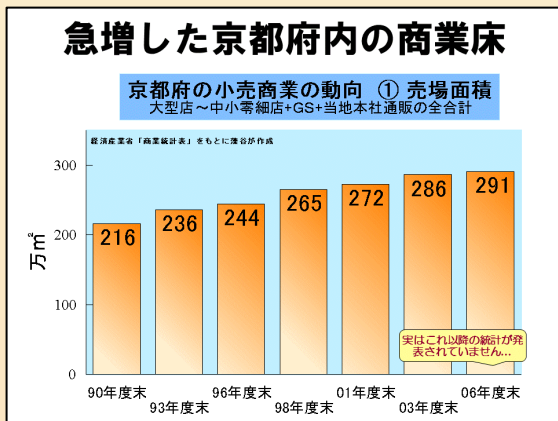
株式会社日本政策投資銀行
地域振興グループ参事役 藻谷浩介さん



皆さん、おはようございます。ご紹介いただきました、藻谷です。今日は、「震災後日本の針路と男女共同参画」のテーマでお話をします。

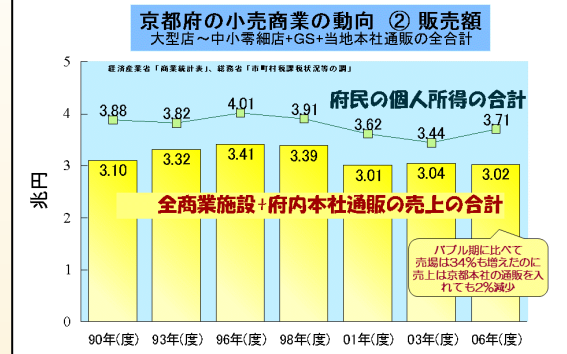
急増した京都府内の商業床面積

これは、京都府内にお店の売り場がどれだけあるかというグラフです。



バブルが崩壊してから、京都府内のお店の売り場は30数%増えています。丹波、丹後、京都市内も増えていますけれど、一番増えたのが山城地域です。これだけ売り場が増えたということは売り上げも増えているのでしょうか。

しかし売上はバブル後最低水準



バブル期は3兆1千億円だったけれど、4、5年前は3兆2百億円ということで、下がっている。商業の専門家が気合いを入れて店を作ったはずが、売り上げが全然上がっていない。京都市だけを取り出しても、2兆1千2百億円が、2兆百億円。売り上げが約5%下がっています。

お店を増やしたのになぜ売り上げが増えないのでしょうか。残念ながら、京都府民の懐にあまりお金がないのです。府民の個人所得の合計がここに載っています。府民の財布に入るお金が増えていれば府内の売り上げが増えるし、財布に入るお金が減れば、売り上げが減るのです。

日本の女性はパート、アルバイトが多いので、給料は平均で男性より3割ぐらい安いと言われています。これは先進国で一番差が大きいと言われていますが、みんな正社員にして、同じ職場で同じ仕事をしている人を同じ給料にすると、おそらく男性の給料が少し下がって、女性の給料が少し増えます。私の意見では、給料を男性に高く払って女性に低く払うというやり方を止めて同額にすると、実は物はもっと売れるのではないかと思います。

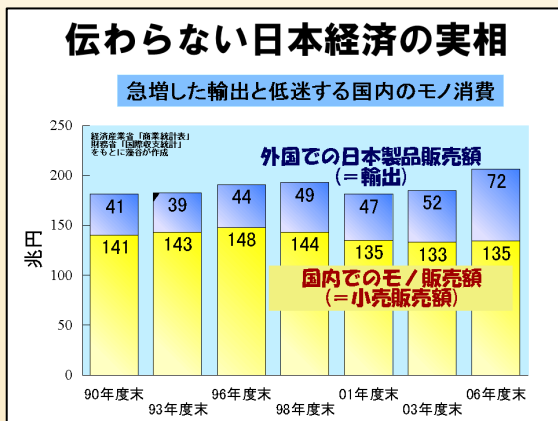
日本経済は約20年に渡って低迷している。そうすると何が起きるでしょうか。大なり小なり、日本人は何かを作って売っています。農家の方も車に関係している方もお店の方も、物を作って売っています。ところが物の売り上げが伸びない以上、皆さんの収入も増え

ないし、どんどん経済が縮小していってしまう。恐るべき事態です。

日本経済の実相

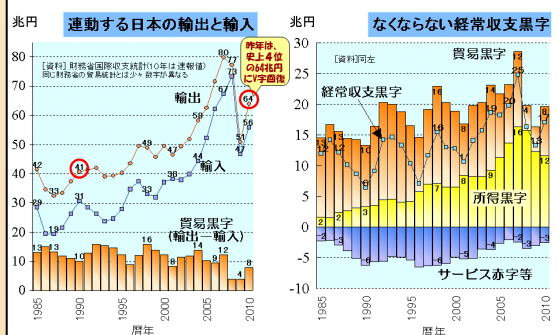
日本はこの20年間、国際競争で勝っているか、負けているか。どちらでしょう？外国への売り上げは増えているか、減っているか。

90年度、外国への日本製品の売り上げは41兆円でした。それではリーマンショックの前、世界経済が過熱していた頃、日本の輸出はどれぐらいになっていたでしょう？



日本の輸出はこの間に41兆円から72兆円に激増しています。輸出が増えると、輸出企業が儲る。ところが、輸出企業の好調の恩恵を受けたのは、従業員ではなくて株主でした。企業が払っている人件費は全然増えていないので、普通の人に普通の物を売っているお店の売り上げはまったく増えない。稼いだお金が地域の住民に回っていないのです。

世界同時不況と日本の収支



この後07年度に80兆円、バブル期の約2倍まで輸出が増え、リーマンショックの大打撃で51兆円まで下がりますが、それでも史上7位の好成績でした。昨年、大リバウンドで64兆円に戻ります。

毎年ものすごい黒字が流れ込んできて、それを外国に投資しているのですね。外国に工場を作ると働くのは外国の人なのに、外国の工場から金利と配当が大量に日本に戻ってくる。これを所得黒字といいます。

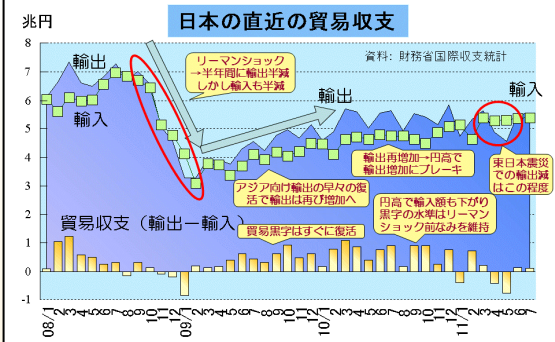
このオレンジ色の貿易黒字という方は、日本の工場が止まれば入って来なくなります。ところが、この黄色い方は今すぐ日本の工場が1年間止まってもずっと入ってくる。外国の人が働いて返してくる金利配当ですから。これがバブルの頃は3兆円しかなかったのが、2010年は12兆円。日本は働いて物を売って8兆円儲け、さらに金利配当で12兆円儲けて、合計で20兆円を儲けているのです。ところが、政府にはお金がありませんから、海外援助をどんどん削っていて、海外援助と観光旅行で3兆円しか返さない。17兆円が手もとに残ったのです。バブル期の3倍です。今回の震災で岩手、宮城、福島の物的損害額が16兆9千億円ですから、それより多いですね。

震災の貿易収支への影響

その後どうなったのでしょうか？震災でものすごい打撃が出ました。この辺りの自動車工場も全部止まりました。東北でしか作っていない部品が作れなくなったために、全然関係なさそうな工場まで止まってしまったのですね。震災で4月頃は全部止まっていた。日本の輸出はどうなったのでしょうか？

2月の日本の輸出は通年ベースに直すと70兆円という非常に好調な数字でした。では、6月はどうなっていたでしょう。震災後3ヶ月弱、テレビなどで、どんなふうにも報道されていましたか？

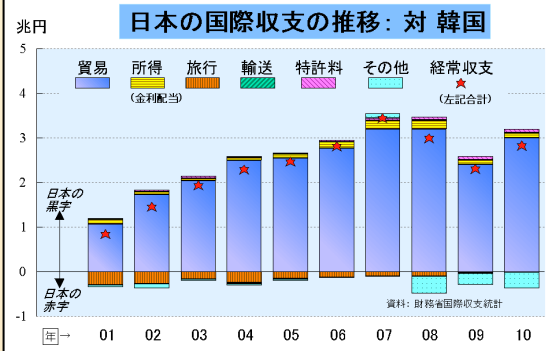
今回震災の貿易収支への影響



このグラフは、日本の毎月の輸出入です。財務省のホームページに出ているデータです。震災の時（グラフ右側○囲み部分）、4月、5月は赤字でしたが、実は6月にはもう黒字に戻っているのです。

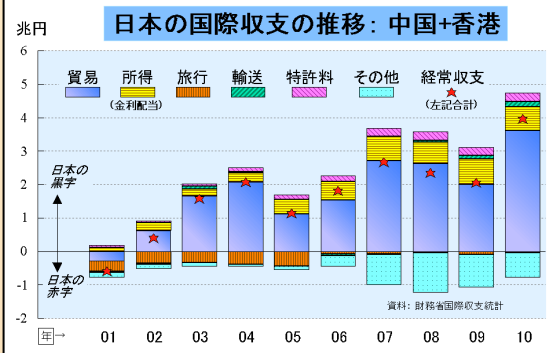
日本の国際収支の推移

対日貿易赤字の増大した韓国



このグラフは、たて軸の0より下を向いていると日本が赤字で、上を向いていると黒字です。中国との収支は10年前に日本は赤字だったのです。10年経った昨年、史上最高の4兆円の黒字になっています。

中国が栄えるほど日本は儲かる

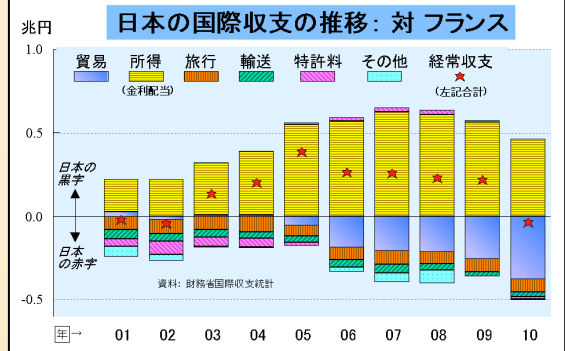


韓国とは、日本が1兆円の黒字だったのが10年後には3兆円の黒字になっているわけです。

人口4千8百万人の韓国から3兆円を儲けた時、2千万人しかいない台湾から同じく3兆円を儲けている。5百万人しかいないシンガポールからは2兆円を儲けています。インドは最近豊かになってきたので日本の儲けが激増中です。逆に、アメリカからの儲けは13兆円あったのが8兆円に減少。EUも一時日本の儲けがすごく増えただけで、EUが貧乏になってきたので急に激減して4兆円ぐらい。ヨーロッパ、アメリカ、アジア各国主要国、みんな日本が黒字です。

逆に、アラブやオーストラリアのように資源のある国はもちろんですが、日本と同じぐらい地下資源がまったくないにもかかわらず、向こうの方が黒字の国もあります。例えばどこでしょう？

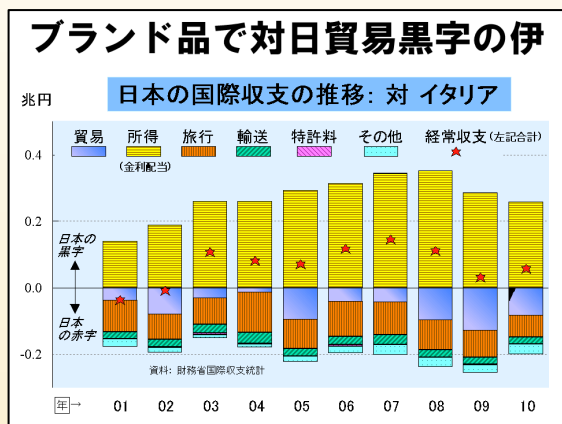
ブランド品で対日貿易黒字の仏



EUの中の一部ですが、フランスだけを取り出すと、日本の方が赤字ですね。フランスは日本から大借金をしてしまっていて、金利配当で日本が儲っていたのですが、よく見ると物の取引は昔から日本とフランスは損得がほぼ同じです。日本がハイテクを売ると、向こうがハイブランドを売り返してきたのです。ところが、ごく最近、フランスの黒字が増え、とうとう昨年、日本は金利配当まで入れても、フランスに対して赤字になってしまいました。5年間に急に売れ出した物は何かわかりますか？ ワインですね。企業から配当を大量にもらった株主の高齢男性の方々がワインを買って、ワインセラーも買っています。つまり、売れるところへ

行くと物が売れるわけです。

フランスのパリで売っている焼き栗は実はパリ市内産です。パリ市内産の栗じゃないと出しちゃいけない。ハイブランドの革製品もフランス国内の自営牧場の牛の皮しか使わないのです。まさに京都にはそういう歴史があるじゃないですか、京野菜とか。

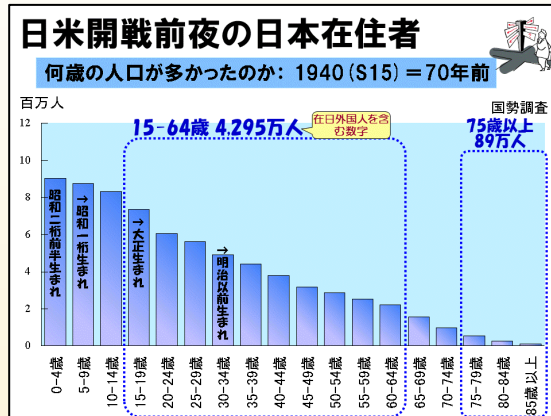


イタリアの場合、物の取引はイタリアの方がずっと黒字です。パスタもオリーブオイルもそうですね、イタリアのパスタはまったく地元のその村の粉しか使わないのです。フランスやイタリアは高くてもいいから地元の物を使う。そういうことを女性が育てる強い文化があるわけです。

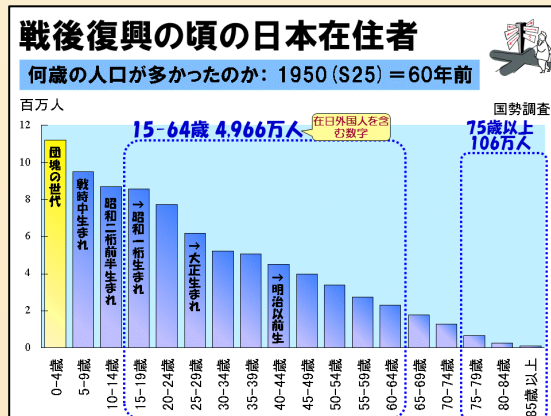
日本はハイテク物を作り安く大量に売ることでは世界中に敵はいません。それなのに、フランスとかイタリアとかスイスのような人件費が高い国に輸出で負けている。それは彼らが作っている本物の地産地消の品を、日本ではちゃんと作っていないからです。何で地産地消の品を作ったら日本で売れるのかというと、お金を持っている人や感性の高い女性がそちらの方が嬉しいからです。安くて性能さえ良ければいい、デザインは気にしないよ、という時代はもう終わりました。

恐ろしい人口の波

これが今日のハイライトで、恐ろしい人口の波というものです。



戦前は、赤ちゃんに対して30代の方が半分しかいません。それは、赤ちゃんの時にかなり亡くなる。お母さんもかなり亡くなる。そしてその後も結核になったり、抗生物質もなく、栄養も不良でした。貧しかったんです。戦争もありました。そういうこともあり、30歳までに半分亡くなるというのが日本でした。



ところが戦後、日本は義務教育の制度を整え、抗生物質ができ、医療水準が大幅に向上しました。

